

抜き挿し治具

組立時等におきましては、可能な限りLMブロックをLMレールから抜かないように作業を行ってください。プレートカバー仕様や作業上止むを得ずLMブロックを抜き挿しされる場合は、抜き挿し治具にて作業を行ってください。

抜き挿し治具を使用せずにLMブロックを挿入すると、異物の流入・内部部品の損傷・若干の傾きによりLMブロックから転動体が脱落する可能性があります。また、転動体が抜けたままLMブロックを挿入し使用すると、早期破損の要因となりますので十分ご注意ください。

抜き挿し治具ご使用時は治具を傾けず、端面を合わせてご使用ください。

抜き挿し治具は形番によっては対応していない場合があります。その場合は、予備のLMレールを使用してお対応ください。詳細はTHKにお問い合わせください。

転動体がLMブロックから脱落した場合は、そのまま使用せずTHKにお問い合わせください。

なお、抜き挿し治具は標準添付しておりませんので、ご使用の際はTHKにお問い合わせください。

